

※本人が手書きで記入すること。

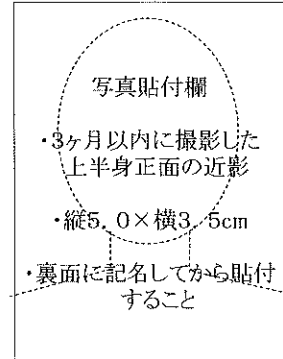
第46回(2020年度)

様式1

岩谷国際留学生奨学助成 申込書

2019 年 12 月 日

公益財団法人 岩谷直治記念財団 御中
「第46回(2020年度)岩谷国際留学生奨学助成募集要項」に従い、
奨学金を受けたく申し込みます。
申込書および添付書類等の記載内容は、事実と相違ありません。



氏名 (母国語表記)	氏名 (漢字表記)		
氏名 (英字表記)	氏名 (カタカナ表記)	性別	男 ・ 女
国・地域名	生年月日	年	月 日 歳
携帯電話	E-mail	配偶者	有 ・ 無

自宅住所 住所 〒 _____
(最寄駅) _____ 線 _____ 駅 (駅から自宅まで、バス/徒歩で _____ 分)

大学名 _____ 住所 〒 _____ 電話 _____

指導教官役職 _____ 氏名 _____ 研究室名 _____ 内線 _____

↓ 2019年12月現在、あなたが在籍している学年の記入欄(1)(2)(3)のいずれか1か所)に記入して下さい。

(1) 大学院生	(現在、大学院生の方) 大学院に入学したのは、いつですか。 _____ 年 _____ 月 入学 (春入学 / 秋入学)										
	現在の、あなたの所属を記入して下さい。 _____ 院 _____ 科 _____ 専攻										
	↓ 2019年12月現在の学年に○印										
	<table border="1"> <tr> <td>M 修士課程 (博士前期)</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 博士課程 (博士後期)</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>年</td> </tr> </table>	M 修士課程 (博士前期)	1年	2年			D 博士課程 (博士後期)	1年	2年	3年	年
M 修士課程 (博士前期)	1年	2年									
D 博士課程 (博士後期)	1年	2年	3年	年							

(2) 四年生	(現在、学部4年生の方) 大学に入学したのは、いつですか。 _____ 年 _____ 月 入学 (春入学 / 秋入学)
	現在の、あなたの所属を記入して下さい。 _____ 大学 _____ 学部 _____ 科 _____ 4年生

(3) 研究生	(現在、研究生の方) 研究生になったのは、いつですか。 _____ 年 _____ 月 から 研究生
	現在の、あなたの所属を記入して下さい。 _____ 大学 _____ 院 _____ 学部 _____ 科 _____ 研究生

全員記入	来年(2020年)4月の、あなたの所属を記入して下さい。 _____ 院 _____ 科 _____ 専攻										
	↓ 2020年4月時点の学年に○印										
	<table border="1"> <tr> <td>M 修士課程 (博士前期)</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 博士課程 (博士後期)</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>年</td> </tr> </table>	M 修士課程 (博士前期)	1年	2年			D 博士課程 (博士後期)	1年	2年	3年	年
M 修士課程 (博士前期)	1年	2年									
D 博士課程 (博士後期)	1年	2年	3年	年							

2019年12月時点で受給している奨学金を記入して下さい。無い場合は、「無し」と記入して下さい。

奨学団体名 _____ 受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

岩谷財団以外に申し込んでいる(予定も含む)奨学金を全て記入して下さい。無い場合は「無し」と記入して下さい。

奨学団体名 _____

日本語による会話能力の自己評価について (あなたの日本語会話レベルに○印を付けて下さい。)

poor ←----- 日常会話可 -----> excellent
1 2 3 4 5

※この様式2はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式2

経 歴 書

2019 年 月 日 現在

氏 名 _____

来日した年 年 月

(日本に来てからの通算年数 年 月)

1. 学 歴 (高校から現在までの学歴を記入)

学校区分	学校名・所在地(国・都市名) (例) ○○○○高校 (例) 中国 大連市	入学・卒業年月	専攻科目	取得学位 又は資格
高校	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
高等専門 学校	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
日本語学校	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
大学	学校名	入学 年 月		
	所在地	卒業 年 月		
大学院 修士課程 (博士前期)	学校名	入学 年 月		
	所在地	修了 年 月		
大学院 博士課程 (博士後期)	学校名	入学 年 月		
	所在地	修了 年 月		
備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。				

2. 職 歴 (アルバイトは記入不要です。)

	勤務先・所在地(国・都市名) (例) ○○○○株式会社 (例) 日本 大阪市	勤務期間	勤務内容	役職名
1	勤務先	年 月		
	所在地	～年 月		
2	勤務先	年 月		
	所在地	～年 月		
備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。				

※この様式3はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式3

身 上 書

2019 年 月 日 現在

氏名	携帯tel
現住所	E-mail
母国住所(帰省先)	

1. 経済状況

最近1年間の収入額と支出額を平均し、1ヶ月相当分を記入して下さい。

1) 1ヶ月の平均収入額 (↓○印または記入して下さい)

① 家族からの仕送り	円/月 → 仕送りしてくれる人は? 父親/母親/その他(
② 奨学金(本人)	円/月 → 奨学金の名称は?
③ 給与(アルバイト)	円/月 → どんなアルバイトですか? RA / TA / その他(
④ 自分の預貯金を使用	円/月
⑤ その他収入	円/月 → どんな収入ですか? 配偶者給与 / 配偶者奨学金 / その他↓
収入額合計 (a)	円/月 その他の内訳

2) 1ヶ月の平均支出額 (↓○印または記入して下さい)

① 家賃	円/月 → 住んでいるところは? 寮 / アパート / その他(
② 学費(自分が払う金額)	円/月 → 学費は免除ですか? 全額免除 / 一部免除 / 免除なし 免除期間: 年 月 ~ 年 月
③ 食費	円/月
④ その他生活費	円/月 → 電気・ガス・水道・携帯・交通費・図書費などの合計金額を記入
⑤ 預貯金	円/月
支出額合計 (b)	円/月

3) 収支差額 (a-b) 円/月

2. 家族状況 (両親・兄弟姉妹を記入して下さい。既婚者は配偶者・子女も記入して下さい。)

続柄	家族の氏名	年齢	現住所 (国・都市名)	職業名 (学生は学校名)

3. 特記事項 (収入の減少予定、支出の増加予定、宗教上の制約等、伝えておきたいことがあれば記入して下さい。)

※この様式4はパソコン入力も可能です。

様式4

※各項目の行数、フォント等は必要に応じて変更できますが、枚数は **A4サイズ縦で2枚以内** とします。

研究計画／将来像

2019 年 月 日 現在

氏名 _____

1. あなたの研究課題について、簡潔に説明して下さい。

2. 今後1～2年間の研究計画と、目標とする研究成果について説明して下さい。
(1年目)

(2年目)
3. あなたが第一著者として発表した論文の本数を記入して下さい。
第一著者論文の本数:
その内、査読付き論文 (peer-reviewed) の本数:
4. 第一著者ではないが、発表した論文の本数を記入して下さい。
第一著者ではない論文の本数:
その内、査読付き論文 (peer-reviewed) の本数:
5. 学会発表の回数を記入して下さい。
6. 学位取得後2～3年先のプランを記入して下さい。(現在修士の人は進学か就職かを記入)
7. 5～10年先のプランを記入して下さい。
8. あなたは今後、母国と日本との交流に、どのように関わっていきたいと考えていますか?
9. その他(自由に意見を述べて下さい)

推薦教官各位：1. 推薦教官ご自身でご記入いただき、捺印・蔽封の上、「親展」にて応募者経由でご提出下さい。

様式5

2. 全ての質問項目を満たしていれば、書式を変更しても結構です。他言語の場合は和訳を添付して下さい。

推薦状

作成日 年 月 日

応募者の所属：

応募者の氏名：

私は上記の学生を貴財団の奨学助成対象者として以下の通り推薦いたします。

1. 研究能力について

2. 研究への取り組み姿勢について

3. 学位取得・修了の見込み及び将来性について

4. 人物像について

--

5. 日本語の語学力について

(当財団での使用言語は日本語です。日本語能力試験を受験している場合は、レベルを明記して下さい。)

--

6. その他、特記事項

--

推薦教官のご所属(大学・高専名/研究科名/学科名)

推薦教官のご所属(大学・高専名/研究科名/学科名)	
お役職	お名前 印
連絡先住所 〒	
電話番号	(内線)
E-mail	

※応募者本人の進学等の事情により入学先での指導期間が短い場合は、従前の指導教官による推薦を認めます。

※推薦教官に連絡を取らせていただく場合がございます。連絡先のご記入漏れが無いようお願いいたします。